

2008年

12月6日（土曜日） - 大きな「人の和」が広がるまちづくり -

本日は、京都市ホテルセントノームで「京丹後ふるさと応援団交流会」を開催させていただきました。京都市はじめ京阪神にお住まいの大勢の応援団の皆さんにおいでいただきました。心からありがとうございます。このふるさと応援団は、京丹後市の域外にお住まいの方で京丹後市出身の方、何らかの所縁を持っていただいている方が、本市のまちづくりに様々な形、できる形で応援していただくことを目的に発足し、昨年9月から応援団員の募集を開始しましたが、現在、300人以上の方が登録をいただき、そのうち3分の2の方には「京丹後ふるさと大使」として特製名詞を持っていただいで積極的なPRを行っていただいています。本当に心強く、ありがとうございます。

丹後は、和の国。また、かつて古代天皇家へのお嫁入りや大陸文化受け入れの玄関口として日本国創成に大きく参画し、大和国家の和の文化の育成にちかく関わったのではないかと思います。そして、これからの本市にとってますます大切なのが、和の思想、和の取り組みだ。今、厳しい社会経済状況の中、課題が多いですが、まずは、住民の皆さんが心を寄せ合い、力を合わせあっていくこと、支えあい、助けあい、与えあい、ともに生きる共生のまちづくり、和のまちづくりを育んでいくことが欠かせません。そして、そんな和のまちづくりに厚みと弾みをいただくためにも必要なことが、いうまでもなく、広く市外の皆さんとの交流と連携の推進であります。そして加えて、とても大切なことは、交流と連携の中で多くの皆さんに京丹後の発展に心を添えていただくこと、愛情を寄せていただけることであり、それにより、まちづくりに本当の温かみがますます増して広がっていく。ふるさと応援団の皆さんにはそんなまちづくりの中心になって牽引していただきたいと願っています。それによって、多くの皆さんの寄せ合う心の輪を重ね広げていく「大きな和のまちづくり」が少しずつ広がっていく。